

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

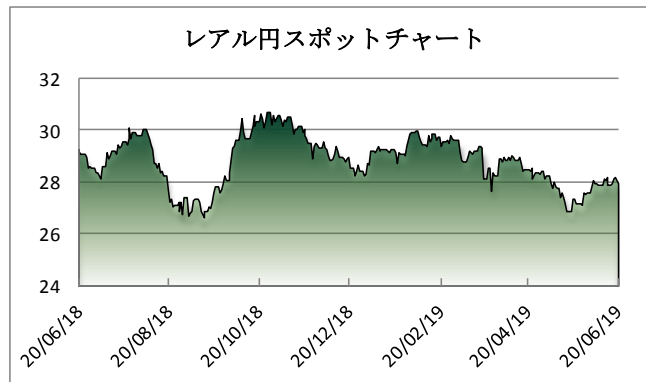
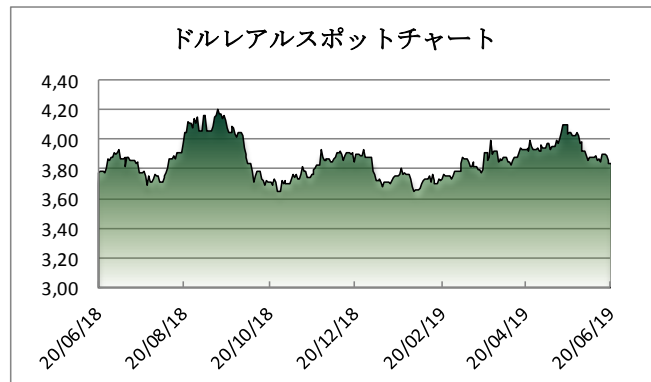
マーケットサマリー

祝日前19日のドルレアルスポット相場は、FOMCがハト派姿勢を強めたことでグローバルにドル売りが加速し、レアルも対ドルで急上昇。3.87台で推移していたレアル相場は一時3.83台後半までレアル高が進行した他、米国株が株高の反応を示したことでボブスパ指数も再び10万ポイントの大台乗せとなった。FOMCは18-19日に開催した会合において、FF金利を予想通り2.25-2.50%に据え置いた一方、声明文では政策金利の判断で「辛抱強くなる」との文言を削除。力強い労働市場とインフレ率が目標に近づくことを引き続き見込んでいたとしても、「見通しを巡る不確実性が高まった」と指摘。また、経済活動の見通しについては前回の「着実なペース」から「緩やかなペース」に下方修正された。なお、今回の政策決定は全会一致とはならず、セントルイス連銀のブラード総裁が、パウエル議長の下では初となる0.25%の利下げを主張し、反対票を投じた（これがドル売りにさらに拍車を掛けた模様）。今後の政策についても見解が分かれており、四半期毎に更新されるFOMC参加者の経済予測によると、17人のうち8人が年内の利下げを予想。8人が据え置き、1人が利上げを予想している。そして、ブラジル中銀も同日程で開催したCOPOMにおいて政策金利Selicを現状の6.50%に据え置いたが、今後の成長見通しについてはFOMC同様、「世界経済の減速に伴うリスクが依然として存在する」と指摘。加えて、ブラジル国内については財政改革進展が構造的な金利低下や持続的な景気回復にとって「不可欠である」との認識を示している。

マーケットデータ

Indicator		Unit	6月19日	6月20日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,8395	3,8395	0,00%	-6,33%	3,6374	4,1217
	対円	JPY	28,15	27,95	-0,71%	4,05%	30,08	26,68
	対ユーロ	BRL	4,3101	4,3101	0,00%	-5,73%	4,1646	4,6037
円	対ドル	JPY	108,10	107,30	-0,74%	-2,53%	104,87	112,40
	対ユーロ	JPY	121,36	121,17	-0,16%	-1,33%	118,71	127,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	100.303	100.303	0,00%	11,46%	100.439	87.536
CDS Brazil 5yrs		bps	154,50	150,72	-2,45%	-18,40%	209,52	148,22
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	7,83	7,83	0,00%	-13,92%	9,34	7,83
DI Future Jan20 (金利先物)		%	6,09	6,09	0,00%	-5,88%	6,69	5,99
3 Months US Dollar Libor		%	2,38613	2,34313	-1,80%	-7,09%	2,8039	2,3861
CRB Index (国際商品指数)		Index	175,43	178,63	1,82%	-1,30%	189,68	168,26

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。